



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年



セネガル戦の後半、同点ゴールを決める
本田(4) 24日、エカテリンブルク

日本 セネガルと分ける

号外

乾、本田がゴール

日本 2(1-1-1) 2 セネガル

【エカテリンブルク共同】

サッカーのワールドカップ(W杯)ロシア大会第11日は24日、エカテリンブルクなどで1次リーグが行われ、H組で国際サッカー連盟(FIFA)ランキング61位の日本は同27位のセネガルと2-2で引き分けて1勝1分けとし、2大会ぶりの決勝トーナメント進出に前進した。

勝ち点4でセネガルと並ぶ日本は、1次リーグ突破を懸けて28日午後5時(日本時間午後11時)からボルゴグラードで行われる最終戦でポーランドと対戦する。

常に先行を許す厳しい展開となったが、乾貴士(ベティス)と本田圭佑(パチューカ)のゴールで2度追い付く粘りを見せた。

19日の初戦でコロンビアを2-1で破る番狂わせを起こした日本は、第2戦でもアフリカの難敵を相手に勝ち点1を確保した。



購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。